

【戦略の方向性】

- ・社会課題を解決し、持続可能な未来を実現するイノベーションの創出を支援するため、産業振興団体等が連携・協力し、スタートアップ企業等の創出から自立まで切れ目のない支援体制を構築することにより、地域に根ざした創業者の増加を図るとともに、新たな事業が継続して創出される仕組み(エコシステムなど)の構築を目指します。
- ・新事業の創出(創業)や新業態への転換(第二創業)を促進するため、創業機運の醸成に取り組むとともに、起業者同士が相互作用する交流機会の創出を図ります。
- ・若者の市外への流出を防ぎ、市外からの流入増加を図るため、多様で魅力ある企業の集積を促進します。特に、企業オフィス等を中心とした誘致活動に取り組むため、立地適地の創出に向けた調査検討を行います。
- ・事業者間のビジネスマッチングを図る機会の創出や、産学官金連携に関する情報発信を行い、教育研究機関の有する研究シーズとのマッチングを促進することにより、事業者の抱える悩みやニーズの解決を図ります。
- ・産業振興団体等との連携・協力の下、市内で社会実験等に取り組みやすい環境を整え、新しい価値を生み出す好循環を創出します。

KPI(重要業績評価指標)					
指標		基準値	令和5年度	目標値	
				中間 (令和9年度末)	期末 (令和14年度末)
KPI ①	市・商工会議所による創業支援者数	53者 (令和3年度)	75者	325者 (延べ)	650者 (延べ)
	内、創業者数	28者 (令和3年度)	30者	175者 (延べ)	350者 (延べ)
KPI ② (※)	市コーディネータ等の活動による企業対応件数	660件 (平成29年度～令和3年度平均)	673件	3,300件 (延べ)	6,600件 (延べ)
	(マッチング対応件数) マッチング成立件数	40件 (平成29年度～令和3年度平均)	(81件) 31件	225件 (延べ)	450件 (延べ)

KPIの進捗状況に対するコメント(事務局)
令和6年1月にビジネスサポートセンター(くさつビズサポ)の開設や創業支援補助金の拡充、定期的な情報発信等に取り組んだ結果、過年度からの継続的な取組の成果もあり、基準値を上回る実績につながったものと考える。
立命館大学と商工会議所に配置(委託)するコーディネータが相互に連携し、企業等への訪問活動を実施した結果、企業対応件数は基準値を上回る実績となった。一方、個々のマッチングに注力しながら取り組んだものの、結果的に不成立となった案件も多数あったため、マッチング成立件数としては基準値を下回る結果となった。

「企業対応件数」＝市内企業の抱える課題(企業ニーズ)に対応するため、コーディネータが企業や支援機関、大学等への訪問活動等を実施した件数
「マッチング対応件数」＝企業対応件数のうち、企業ニーズに応じたマッチング先(別企業や支援機関、大学等)との調整を行った件数
(※)「マッチング成立件数」＝マッチング対応件数のうち、実際に双方の条件が合致し、成立した件数

(参考)マッチング成立件数(31件)内訳 … 企業同士によるビジネスマッチング・連携:5件 / 企業と産学官金によるニーズのマッチング:3件 / 企業ニーズに応じた支援機関・支援制度とのマッチング:23件

<施策1の成果>

重点取組である「くさつビズサポ」の開設をはじめ、産業振興団体・教育研究機関・金融機関の担当者同士で情報交換・連携を強化し、創業支援に取り組むことができた。

<施策1の課題>

更なる創業数の増加に向けて、くさつビズサポの存在を広く認知いただくための情報発信(事業内容や創業事例の発信)を強化する必要がある。

施策	主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和5年度の実績	令和6年度の実績
			産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
1 創業・第二創業の促進	【重点取組】 ①ビジネス相談窓口の創設による支援体制の強化	創業希望者や中小企業等が抱える課題に対する相談窓口を創設し、創業・第二創業の支援体制を強化します。	◎	○	○	◎			【新規】<執行額:2,384千円> ・創業希望者等の抱えるビジネス上の課題にワンストップで対応できる体制を構築するため、市と商工会議所の共同で「草津市ビジネスサポートセンター(くさつビズサポ)」を令和6年1月に開設しました。 ・専門家による創業相談:7名(18回) ※令和6年1～3月分	【継続】<予算額:7,072千円(戦略1-施策2-⑥と共通)> ・令和6年1月に開設したくさつビズサポ事業を通じて、創業希望者等の抱えるビジネス上の課題に対する支援を行うとともに、専門家による創業相談をはじめ、創業支援・機運醸成を目的としたイベントやセミナーを開催します。 ・(継)専門家による創業相談:90回/年 ・(新)ビジネスカフェや事業者交流会の開催:3回 ・(新)創業セミナーの開催:1回 (詳細:資料4 4ページ参照)
	②産業振興団体等と連携した多面的な創業支援	産業競争力強化法に基づき大津市と共同で策定した創業支援等事業計画を踏まえて、産業振興団体等と連携しながら、各々の特徴と強みを生かした創業支援を実施します。	◎	○	○	◎			【継続】 ・大津市および大学・商工団体・金融機関等の支援機関(17団体)実務担当者による情報交換を行い、各団体における取組状況など、団体間の情報共有・連携強化に取り組みました。 ・情報交換会:1回(9月) 【継続】 ・各団体の実施する創業支援制度(創業セミナー、専門家相談、表彰制度等)を集約・共有するとともに、市ホームページ等で発信を通じて創業希望者等への情報発信に取り組みました。 ・団体別・時期別での創業支援制度一覧の更新・公表 【継続】<執行額:2,204千円> ・創業に関する市の独自の補助金(創業支援補助金・女性チャレンジ支援助成金)により、市内で創業する方への支援を行いました。 ・補助金交付件数:7者(令和4年度:7者) 【新規】 ・大学生を対象とした創業機運醸成に向けた取組について、大津市、立命館大学、龍谷大学と共同で企画・検討を行いました。(詳細:資料4 5ページ参照)	【継続】 ・大津市および大学・商工団体・金融機関等の支援機関(17団体)実務担当者による情報交換を行い、各団体における取組状況など、団体間の情報共有・連携強化に取り組みます。 ・情報交換会:1回 【継続】 ・各団体の実施する創業支援制度(創業セミナー、専門家相談、表彰制度等)を集約・共有するとともに、市ホームページ等で発信を通じて創業希望者等への情報発信に取り組みます。 ・団体別・時期別での創業支援制度一覧の更新・公表 【継続】<予算額:3,750千円> ・創業に関する市の独自の補助金(創業支援補助金・女性チャレンジ支援助成金)により、市内で創業する方への支援を行います。 ・補助金交付決定者数:4者(令和6年7月時点) 【新規】<予算額:30千円> ・大津市、立命館大学、龍谷大学と共同で、大学生を対象とした創業機運醸成イベントを開催しました。 ・日時:令和6年4月24日 場所:アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (詳細:資料4 5ページ参照)
	③創業支援を通じたプロモーションの強化	創業・第二創業の支援を通じ、新たな取組に挑戦しやすいまちとして草津市をブランディングし、地域の発展を促進します。	○			◎			【継続】 ・市ホームページ等を通じ、これまで本市の支援を受けて創業した方の事例紹介を行うことで、創業希望者等に対する情報発信に取り組みました。 ・紹介記事発信延べ件数:18件(令和4年度:11件)	【継続】 ・市ホームページや「くさつビズサポ」の公式ホームページ・SNS等を通じ、市内で創業された方の支援事例や支援制度・イベント情報等の発信を行うことで、創業希望者等に対する情報発信に取り組みます。 ・"くさつビズサポ"HP・SNSでの創業事例紹介件数:12件/年 【新規】<予算額:902千円> ・創業者やスタートアップ企業等が自身の商品・サービスや活動内容を市民等知ってもらうことを目的として、創業者応援マルシェ・パネル展示イベントを開催します。(草津市市制施行70周年記念事業) ・日時:令和6年9月28日(土) 場所:キラリエ草津

<施策2の成果>

立命館大学BKCインキュベータ入居企業や公的インキュベーション施設退去企業に対する支援(入居賃料補助等)を通じ、新事業・新産業の創出に向けた活動を支援することができた。

<施策2の課題>

公的インキュベーション施設退去企業(スタートアップ企業等)の市内立地・集積に向けて、立地適地の創出に向けた取組を進める必要がある。

施策	主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和5年度の実績	令和6年度の実績
			産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
2 スタートアップ企業等の集積促進	【重点取組】 ④企業オフィス等の立地適地の創出	ICT企業等をはじめとした企業オフィス等の立地適地の創出に向けた調査検討を行います。				◎			【継続】 ・県内外の不動産会社・デベロッパー等との情報交換を行い、企業の立地適地創出に向けた検討を行いました。 ・藤沢市事例視察、不動産会社等との面談・情報交換	【新規】<予算額:871千円(債務負担行為:9,000千円)(戦略2-施策4-①と共通)> ・市内における新たな産業用地創出に向けて、地域未来投資促進法等を活用した民間主導による開発の可能性調査を行います。(詳細:資料4 6ページ参照)
	⑤公的インキュベーション施設入居企業等への支援	立命館大学BKCインキュベータへの入居企業に対する入居賃料の支援を行うとともに、公的インキュベーション施設退去後の市内立地を促進します。	○			◎			【継続】<執行額:2,412千円> ・立命館大学BKCインキュベータ入居企業に対する家賃補助を通じ、新事業創出に取り組む事業者の支援に取り組みました。 ・補助金交付者数:13者(令和4年度:10者) ※支援期間:5年間 【継続】<予算額:1,270千円> ・公的インキュベーション施設を退去し、市内で事業展開を図ろうとする事業者に対する家賃補助を通じ、企業の市内立地を促進に取り組みました。 ・補助金交付者数:3者(令和4年度:3者) ※支援期間:3年間	【継続】<予算額:3,327千円> ・立命館大学BKCインキュベータ入居企業に対する家賃補助を通じ、新事業創出に取り組む事業者の支援に取り組みます。 ・補助金交付決定者数:13者(令和6年7月時点) 【継続】<予算額:2,100千円> ・公的インキュベーション施設を退去し、市内で事業展開を図ろうとする事業者に対する家賃補助を通じ、企業の市内立地を促進に取り組みます。 ・補助金交付決定者数:3者(令和6年7月時点)
	⑥起業家同士の交流機会の創出	オープンイノベーションを促進するため、産業振興団体等と連携し、起業家同士のネットワーク構築に向けた取組を検討します。	◎	○	○	◎			【新規】 ・令和6年度以降の草津市ビジネスサポートセンター事業として、創業希望者や創業者同士の交流機会創出に向けた取組について、商工会議所と共同で企画・検討を行いました。	【新規】<予算額:7,072千円(戦略1-施策1-①と共通)> ・令和6年1月に開設したくさつビスサボ事業を通じて、創業希望者等の抱えるビジネス上の課題に対する支援を行うとともに、専門家による創業相談をはじめ、創業支援・機運醸成を目的としたイベントやセミナーを開催します。 ・(継)専門家による創業相談:90回/年 ・(新)ビジネスカフェや事業者交流会の開催:3回 ・(新)創業セミナーの開催:1回 (詳細:資料4 4ページ参照)

<施策3の成果>

2名のコーディネータによる事業所等への訪問活動等を通じ、市内事業者同士や支援機関、大学など、様々な主体との連携を促進することができた。(補助金や外部専門家の活用支援、商品開発に向けたマッチング支援など)

<施策3の課題>

マッチング成立件数の増加に向けて、コーディネータの活動方針を見直ししながら、引き続き、企業ニーズに応じた支援に取り組む必要がある。

施策	主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和5年度の実績	令和6年度の実績
			産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
3 多様な主体との連携の促進	⑦事業者間ビジネスマッチングの創出	本市の配置するコーディネータによる訪問活動等を通じて、事業者の抱える課題やニーズの解決に向けたビジネスマッチング支援を行います。	◎	○	◎	◎			【継続】<執行額:8,355千円(戦略1-施策3-⑧、戦略2-施策1-④、戦略2-施策3-⑨、戦略3-施策1-①と共通)> ・立命館大学と商工会議所に配置するコーディネータによる訪問活動等を通じ、市内事業者のニーズに応じた事業者間のビジネスマッチング支援に取り組みました。 ・延べ活動件数:673件/事業者間マッチング対応件数:35件/マッチング成立件数:5件(令和4年度:715件/32件/15件)	【継続】<予算額:8,171千円(戦略1-施策3-⑧、戦略2-施策1-④、戦略2-施策3-⑨、戦略3-施策1-①と共通)> ・立命館大学と商工会議所(くさつビスサボ)に配置するコーディネータによる訪問活動等を通じ、市内事業者のニーズに応じた事業者間のビジネスマッチング支援に取り組みます。
	⑧産学官金連携による新たな価値の創出	産学官金連携に関する情報発信を行うとともに、事業者の抱える課題やニーズと教育研究機関の有する研究シーズのマッチング支援を行います。	○	○	◎	○			【継続】<執行額:8,355千円(戦略1-施策3-⑦、戦略2-施策1-④、戦略2-施策3-⑨、戦略3-施策1-①と共通)> ・立命館大学と商工会議所に配置するコーディネータによる訪問活動等を通じ、市内事業者と大学等の有する知見や研究シーズや金融機関等のマッチング支援に取り組みました。 ・延べ活動件数:673件/産学官金マッチング対応件数:16件/マッチング成立件数:3件(令和4年度:715件/32件/4件)	【継続】<予算額:8,171千円(戦略1-施策3-⑦、戦略2-施策1-④、戦略2-施策3-⑨、戦略3-施策1-①と共通)> ・立命館大学と商工会議所(くさつビスサボ)に配置するコーディネータによる訪問活動等を通じ、市内事業者のニーズに応じた事業者間のビジネスマッチング支援に取り組みます。
	⑨社会実験等への協力支援	産業振興団体等と連携し、社会課題の解決や新たな事業の立ち上げに係る社会実験等に対するサポートを行います。	○	○	○	◎			【新規】 ・立命館大学の研究シーズを用いた社会実験に対し、市内事業者等と連携・協力しながら取組のサポートを行いました。 ・(継)蛇型ロボットを活用した下水道圧送管の点検 ・(新)AIによる片側交互通行自動誘導システム実証実験(令和4年度:1件)	【継続】 ・社会実験等の実施を希望する事業者等に対し、産業振興団体等と連携してサポートを行います。 ・立命館大学発・草津市発スタートアップ企業の技術発表会の支援(後援)

【戦略の方向性】

- ・事業者が抱える様々な経営課題を解決し、経営安定化や事業拡大に取り組む事業者を支援します。また、経営者の高齢化や廃業等により培われた技術やノウハウ、雇用が失われることのないよう、第三者承継も含めた事業承継を支援し、経営資源の円滑な引継ぎを促進します。
- ・若者や女性、高齢者、障害者、外国人など、多様な人材が市内事業者への雇用へとるながり、満足して暮らせるよう、関係機関と連携した人材確保等支援を行い、多様な人材が活躍し定着するまちを目指します。
- ・市内事業者におけるDXの推進ならびにDXを活用する人材の育成・定着等による生産性向上に向けた取組を促進します。
- ・学校と産業界の連携により、小中学校等の児童生徒を対象としたキャリア教育を推進します。
- ・戦略的な企業誘致やインキュベーション施設入居企業等への支援を行い、企業の立地・集積を促進します。

KPI(重要業績評価指標)					
指標		基準値	令和5年度	目標値	
				中間 (令和9年度末)	期末 (令和14年度末)
KPI ③	支援制度の活用による企業の施設更新件数および市内立地件数	4件 (平成29年度～令和3年度平均)	2件	25者 (延べ)	50者 (延べ)
KPI ④	中小企業者・小規模事業者の事業計画策定および伴走支援件数	24件 (令和3年度)	24件	120件 (延べ)	240件 (延べ)
	内、売上増加件数(前年比)	8件 (令和3年度)	8件	60件 (延べ)	120件 (延べ)

KPIの進捗状況に対するコメント(事務局)
実績値は基準値を下回る結果となったが、令和6年度中に制度を活用予定の企業が複数おられることから、引き続き、支援制度の情報発信・活用支援等を行う。
伴走支援件数および伴走支援件数の内、売上増加件数ともに実績値は、基準値と同水準で推移しており、計画どおりに支援を行うことができたことから、引き続き、計画どおりに支援できるよう推進する。

<施策1の成果>
産業振興団体等と連携し、ビジネスマッチング会や草津ブランド認証商品のPRを行うなど、販路開拓の支援強化を図ることができた。

<施策1の課題>
草津ブランド認証商品のPRについて、イベント等の一時的な取組のほかに、継続的に行うことができるPR方法を強化する必要がある。

施策	主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和5年度の実績	令和6年度の実績
			産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
1 関係機関との連携によるサポート体制の強化	【重点取組】【再掲】 ①ビジネス相談窓口の創設による支援体制の強化	創業希望者や中小企業等が抱える課題に対する相談窓口を創設し、創業・第二創業の支援体制を強化します。	◎	○	○	◎			【再掲】 【新規】<執行額：2,384千円> ・創業希望者等の抱えるビジネス上の課題にワンストップで対応できる体制を構築するため、市と商工会議所の共同で「草津市ビジネスサポートセンター（くさつビズサポ）」を令和6年1月に開設しました。 ・専門家による創業相談：7名(18回) ※令和6年1～3月分	【再掲】 【継続】<予算額：7,072千円> ・令和6年1月に開設したくさつビズサポ事業を通じて、創業希望者等の抱えるビジネス上の課題に対する支援を行うとともに、専門家による創業相談をはじめ、創業支援を目的としたイベントやセミナーなどを開催します。 ・専門家による創業相談：90回/年 ・ビジネスカフェや事業者交流会の開催：3回 ・創業セミナーの開催：1回 (詳細：資料4 4ページ参照)
	②販路開拓の支援	産業振興団体等と連携し、商談会等への出展サポートを通じた販路開拓支援や商業施設等における販売促進に取り組みます。	◎	○		○			【継続】 ・県内中小企業（製造業）と県内外の企業とのビジネスマッチング会（商談会）を開催し、受注機会拡大と新規取引先開拓に向けた支援を行いました。 ・主催：（公財）滋賀県産業支援プラザ 共催：㈱日本政策金融公庫、草津市、草津商工会議所 日時：令和5年7月20日（木）・21日（金） 場所：キラリエ草津 参加企業数：発注企業：49社 受注企業：64社 商談件数：230件 【継続】<執行額：347千円> ・草津ブランド認証商品のPR（販路開拓）を行うため、市内商業施設において、商品の販売・展示・ワークショップを行いました。 ・主催：草津ブランド推進協議会 日時：令和5年11月18日（土） 場所：アル・プラザ草津	【継続】 ・県内中小企業（製造業）と県内外の企業とのビジネスマッチング会（商談会）を開催し、受注機会拡大と新規取引先開拓に向けた支援を行いました。 ・主催：（公財）滋賀県産業支援プラザ 共催：㈱日本政策金融公庫、草津市、草津商工会議所 日時：令和6年7月10日（水）・11日（木） 場所：キラリエ草津 【継続】<予算額：600千円> ・草津ブランド認証商品のPR（販路開拓）を行うため、市内商業施設等において、商品の販売・展示・ワークショップを行います。 ・主催：草津ブランド推進協議会 日時：令和6年7月27日（土） 場所：草津市立プール
	③資金調達の支援	小規模事業者小口簡易貸付制度の運用やセーフティネット保証の認定を行うとともに、各種融資制度について分かりやすい情報発信を行います。		○	◎	○			【継続】 ・セーフティネット4号は新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者、セーフティネット5号は全国的に業況の悪化している業種に属する中小企業者の資金繰りの支援措置を行う制度で、一般保証とは別枠の信用保証が利用可能となります。市にて、対象中小企業者の減収認定を行うことで、売上高等が減少している中小企業者を支援いたしました。 ・セーフティネット4号認証数…67件(令和4年度：61件) ・セーフティネット5号認証数…91件(令和4年度：52件) 【継続】<執行額：8,000千円> ・小規模企業者小口簡易資金は、資金調達が困難である小規模企業者に対して、無担保・無保証で資金調達の機会を提供する制度であり、市HP等を通じて制度の周知を行いました。 ・利用件数：0件(令和4年度：0件)	【継続】 ・引き続き、対象中小企業者の認定を通じて、売上高等が減少している中小企業者を支援いたします。
	④事業承継の支援	事業承継を希望する中小企業等が必要な支援を受けられるよう、必要な情報発信を行うとともに、産業振興団体への橋渡しを行います。	◎	○		○			【継続】<執行額：8,355千円> ・立命館大学と商工会議所に配置するコーディネータによる訪問活動等を通じ、事業承継を考える企業と支援機関（滋賀県事業承継・引継ぎ支援センター）との橋渡しを行いました。 ・橋渡し件数：1件(令和4年度：1件)	【継続】<予算額：8,171千円（戦略1-施策3-⑦、⑧、戦略2-施策3-⑨、戦略3-施策1-①と共通）> ・立命館大学と商工会議所（くさつビズサポ）に配置するコーディネータによる訪問活動等を通じ、事業承継を考える企業と支援機関（滋賀県事業承継・引継ぎ支援センター）との橋渡しを行います。

<施策2の成果> 関係機関と連携して市内事業所への訪問活動等を行い、多様な人材(若者・女性・高齢者・障害者・外国人など)が活躍できるよう啓発等に取り組むとともに、女性の社会進出を後押しするための取組(輝☆業塾)を実施することができた。	<施策2の課題> 引き続き、市内事業所に対する訪問・啓発活動に取り組むとともに、人材確保を希望する市内事業者に対する情報発信の強化に取り組む必要がある。
---	--

施策	主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和5年度の実績	令和6年度の実績
			産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
2 多様な人材の活躍促進	⑤多様な働き手の活躍促進	多様な人材が働く意欲や希望に応じて活躍できるよう、国・県等と連携しながら、啓発等に取り組めます。	○			◎			【継続】<執行額:7,462千円> ・市内事業所内での公正な採用選考や就職差別などの人権課題の早期解決に向けた取組として、草津商工会議所および草津公共職業安定所とともに、市内事業所等への啓発活動を行いました。 ・訪問・啓発事業所数:297事業所(令和4年度:287事業所) 【継続】<執行額:60千円> ・雇用保険に加入されていない方に対し、就職を目的とした資格を取得するための教育訓練を受ける際の受講料等を補助することで、就職に向けた支援を行いました。(近年の利用実績を踏まえ令和5年度末で廃止) ・補助金交付者数:1者(令和4年度:1者) 【継続】<執行額:977千円(戦略2-施策3-⑩と共通)> ・女性の社会進出を支援するため、女性向けの起業塾「輝☆業塾」(起業家育成コース)を開催しました。 ・起業家育成コース受講者:14名(令和4年度:14名) 【継続】 ・過年度の起業塾受講者等(約150名)を対象に、県等が実施する、女性の創業に関する相談やセミナー、在宅ワークセミナーや子育てママの働き応援など、多様な働き方に関する情報配信に取り組めました。	【継続】<予算額:8,795千円> ・市内事業所内での公正な採用選考や就職差別などの人権課題の早期解決に向けた取組として、草津商工会議所および草津公共職業安定所とともに、市内事業所等への啓発活動を行います。 ・訪問・啓発対象事業所数:313事業所 【継続】<予算額:990千円> ・女性の社会進出を支援するため、女性向けの創業塾を開催し、女性の起業家育成に取り組めます。 【継続】 ・過年度の起業塾受講者等(約160名)を対象に、県等が実施する、女性の創業に関する相談やセミナー、在宅ワークセミナーや子育てママの働き応援など、多様な働き方に関する情報配信に取り組めます。
	⑥児童生徒等のキャリア形成の促進	将来の社会的・職業的自立に向けて、市内の小中学校等と企業の連携により、児童生徒のキャリア形成に取り組めます。	◎		◎	○			【継続】<執行額:49千円> ・草津商工会議所との連携・協力協定に基づき、情報交換を行いました。また、市内中学校の教員と地域企業との連携に関する情報交換会を実施し、共通理解を図りました。 ・小中学校への職業講話および職場体験学習の受入れ企業募集のチラシを作成し、草津商工会議所を通じて関係事業所に配布していただき、キャリア教育に関する学習の受入れ企業を増やす取り組みを、連携・協力しながら実施しました。 ▶職場体験学習実施中学校数:6校 ▶受入協力企業数(延べ):340事業所	【継続】<予算額:49千円> ・草津商工会議所との連携・協力協定に基づき情報交換を行うとともに、小中学校の教育分野、とりわけキャリア教育の推進と企業活動の活性化を促進します。 ・市内教員と草津商工会議所との情報交換会を実施し、職場体験実習の受入れ企業をさらに増やす取り組みを推進します。 ▶職場体験学習実施中学校数:6校
	⑦関係機関と連携した人材確保等の支援	人材確保を希望する中小企業等を支援するため、産業振興団体が実施する就職説明会等に関する情報を集約し、情報発信を行います。	◎			○			【新規】 ・企業への訪問や合同研修会などを通じて、人材確保に関するニーズのヒアリングを行ったうえで、国、県や産業振興団体などが開催する就職に関する説明会や講習会等の情報収集を行い、人材の確保を希望する中小企業等に対して、市ホームページを通じて情報発信を行いました。	【継続】 ・引き続き、企業への訪問や合同研修会などを通じて、人材確保に関するニーズのヒアリングを行うとともに、国、県や産業振興団体などが開催する就職に関する説明会や講習会等の情報収集を行い、人材の確保を希望する中小企業等に対して、市ホームページを通じて情報発信を行います。

<施策3の成果> マッチング支援やサポート体制の情報発信に取り組むとともに、デジタル人材育成セミナーの開催を行い、デジタル化の促進を行うことができた。	<施策3の課題> 中小企業等におけるデジタル化の促進のため、産業振興団体や金融機関等と連携し、さらなる情報発信に取り組む必要がある。
---	--

施策	主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和5年度の実績	令和6年度の実績
			産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
3 DXの実現に向けたデジタル化の促進	⑧DX化に向けたマッチング支援	中小企業等のDX化を促進するため、導入を検討する企業とITベンダー等のマッチングを支援します。	◎	◎		◎			【新規】 ・企業のDX化の促進に向けた情報発信に取り組むとともに、商工会議所に配置するコーディネータを通じて、市内事業者(IT事業者)と県内中小企業等のマッチング支援を行いました。成立には至りませんでした。	【継続】 ・企業のDX化の促進に向けた情報発信に取り組むとともに、DXについて高い専門性を有する民間企業・団体等による支援を結びつける仕組み「滋賀県DX官民協創サロン(滋賀県・滋賀銀行・関西みらい銀行が運営)」への橋渡しを行うなど、希望する企業と関係先とのマッチング支援に取り組めます。
	⑨デジタルツールの導入支援	事業所内での業務効率化や生産性向上を目的とした、デジタルツールの導入を支援します。	○			◎			【継続】<執行額:8,355千円(戦略1-施策3-⑦、戦略2-施策1-④、戦略3-施策1-①と共通)> ・企業のDX化の促進に向けた情報発信に取り組むとともに、立命館大学と商工会議所に配置するコーディネータの訪問活動等を通じ、支援制度の案内やサポートに取り組みましたが、デジタルツールの導入につながる案件はありませんでした。	【継続】<予算額:8,171千円(戦略1-施策3-⑦、戦略2-施策1-④、戦略3-施策1-①と共通)> ・企業のDX化の促進に向けた情報発信に取り組むとともに、立命館大学と商工会議所(くさつビズサポ)に配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携し、希望する企業における国・県等の補助制度の活用支援に取り組めます。
	⑩デジタル人材の育成支援	事業所内におけるデジタル人材の育成支援等を行い、DX化等に対応するITリテラシーの向上や新たな価値の創出、業務改革等を促進します。	○			◎			【新規】<執行額:977千円(戦略2-施策2-⑤と共通)> ・女性のITリテラシー向上を目的とした、「輝☆業塾」(デジタル人材育成コース)を開催し、国家資格「ITパスポート」のカリキュラムを活用しながら、IT分野に関しての知識を身に付けるデジタル人材育成講座を実施しました。 - 日時:8/31(火)、9/14(火)、9/28(火)、10/5(火)、10/19(火)、11/2(火)、11/16(火) 10:00～12:00 ・開催方法:対面 ・受講者:10名	【新規】<予算額:2,000千円> ・市内の中小企業者等のDX推進を目的として、事業所内におけるDX人材の育成、強化、底上げ等に向けた取組に対する支援(補助金)を行います。

<施策4の成果> 設備投資に対する支援制度(助成金・税制特例)を積極的に活用いただくことで、令和4年度と同程度の事業者に対する支援を行うことができた。	<施策4の課題> 企業の立地適地が不足していることから、新たな立地適地の創出に向けた検討を進める必要がある。(令和6年度から具体的な検討を開始)
---	--

施策	主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和5年度の実績	令和6年度の実績
			産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
4 戦略的な企業立地・集積の促進	①企業の立地集積に向けた設備投資等の支援	市内における企業誘致・立地集積を促進し、新たな雇用の創出と税収の増加を図るため、新たな事業所等の整備に対する支援を行います。				◎			【継続】<執行額:25,133千円> ・新たな設備投資(工場の新築等、労働生産性向上に資する設備導入)を行う企業に対し、税制支援等を行いました。 ・工場の新築等に伴う助成金交付企業数:9者(令和4年度:10者) ※支援期間:5年間 ・労働生産性向上設備の導入企業数:22者(令和4年度:25者) ※支援期間:3年間	【継続】<予算額:18,946千円> ・新たな設備投資(工場の新築等、労働生産性向上に資する設備導入)を行う企業に対し、税制支援等を行います。 【新規】<予算額:871千円(債務負担行為:9,000千円)(戦略1-施策2-④と共通)> ・市内における新たな産業用地創出に向けて、地域未来投資促進法等を活用した民間主導による開発の可能性調査を行います。(詳細:資料4 6ページ参照) (「戦略1-施策2-主な取組事例④-令和6年度の実績」の再掲)
	【重点取組】【再掲】 ②企業オフィス等の立地適地の創出	ICT企業等をはじめとした企業オフィス等の立地適地の創出に向けた調査検討を行います。				◎			【再掲】 【継続】 ・県内外の不動産会社・デベロッパー等との情報交換を行い、企業の立地適地創出に向けた検討を行いました。 ・藤沢市事例視察、不動産会社等との面談・情報交換	【再掲】 【新規】<予算額:871千円(債務負担行為:9,000千円)> ・市内における新たな産業用地創出に向けて、地域未来投資促進法等を活用した民間主導による開発の可能性調査を行います。 (詳細:資料4 6ページ参照)
	【再掲】 ③公的インキュベーション施設入居企業等への支援	立命館大学BKCインキュベータへの入居企業に対する入居料の支援を行うとともに、公的インキュベーション施設退去後の市内立地を促進します。	○			◎			【再掲】 【継続】<執行額:2,412千円> ・立命館大学BKCインキュベータ入居企業に対する家賃補助を通じ、新事業創出に取り組む事業者の支援に取り組みました。 ・補助金交付者数:13者(令和4年度:10者) ※支援期間:5年間 【継続】<執行額:1,270千円> ・公的インキュベーション施設を退去し、市内で事業展開を図ろうとする事業者に対する家賃補助を通じ、企業の市内立地を促進に取り組みました。 ・補助金交付者数:3者(令和4年度:3者) ※支援期間:3年間	【再掲】 【継続】<予算額:3,327千円> ・立命館大学BKCインキュベータ入居企業に対する家賃補助を通じ、新事業創出に取り組む事業者の支援に取り組みます。 ・補助金交付決定者数:13者(令和6年7月時点) 【継続】<予算額:2,100千円> ・公的インキュベーション施設を退去し、市内で事業展開を図ろうとする事業者に対する家賃補助を通じ、企業の市内立地を促進に取り組みます。 ・補助金交付決定者数:3者(令和6年7月時点)

【戦略の方向性】

- ・2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、事業者による環境に配慮した取組を支援します。
- ・観光地域づくりを通じた魅力ある地域イメージや地域資源を磨き上げ、人・企業にとって「魅力あふれるまち」を目指します。
- ・本市ならではの賑わい創出を目指し、商工会議所などの商工団体に対する支援や、空き店舗を活用した魅力店舗の誘致を行い、地域特性を生かしたまちを創出します。
- ・本市の特徴である、「住みやすさ」に加えて「働きやすさ」も向上し、自らが望む形で働き方を選択できるまちを目指す。

KPI(重要業績評価指標)						KPIの進捗状況に対するコメント(事務局)
指標		基準値	令和5年度	目標値		
				中間 (令和9年度末)	期末 (令和14年度末)	
KPI ⑤	愛する地球のために約束する協定者数 (「草津市気候非常事態宣言」賛同者数)	54者 (令和3年度)	55者	85者	110者	協定者数は前年と比較し、1者のみの増加になっていることから、目標の達成に向けて、協定の趣旨を多くの事業者にも周知するとともに、事務負担の軽減を図り、参画しやすい仕組みを検討する必要がある。
KPI ⑥	観光入込客数(日帰り・宿泊客)	220.7万人 (令和3年)	294.8万人	330.2万人	349.0万人	新型コロナウイルス感染症の影響が続いていたこともあるが、コロナ禍以前の水準に回復しつつあり、目標達成に向けて順調であることから、引き続き、観光振興の取組を実施する。

<施策1の成果>

環境に関するセミナーやイベント、補助制度を情報発信を行うとともに、セミナー参加者を対象にアンケート調査を実施し、傾向などの把握を行うことができた。

<施策1の課題>

愛する地球のために約束する協定者等の関係者へのセミナーやイベント、補助制度の情報発信は行えているものの、さらなる協定者数を増加させ、情報発信の取り組みを強化する必要がある。

施策	主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和5年度の実績	令和6年度の実績
			産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
1 ゼロカーボンシティの推進	①国・県等の支援制度の集約と情報発信	事業者におけるゼロカーボンに向けた取組を促進するため、国・県等の提供する支援制度の集約や必要な情報発信を行います。				◎			【継続】<執行額:8,355千円> ・事業者が活用可能な支援制度を市ホームページ等で発信するとともに、立命館大学と商工会議所に配置するコーディネータによる訪問活動等を通じ、支援制度の案内やサポートに取り組みましたが、事業者によるゼロカーボン等の取組につながる案件はありませんでした。 【継続】<執行額:170千円> ・愛する地球のために約束する協定者、草津市地球冷やしたい推進協議会員に対し、環境に関するセミナーやイベント、補助制度についての情報を定期的に発信しました。 ▶草津市地球冷やしたい推進協議会(愛する地球のために約束する協定者を含む。)会員数79者(令和6年5月時点)	【継続】<予算額:8,171千円(戦略1-施策3-⑦、⑧、戦略2-施策1-④、戦略2-施策3-⑨と共通)> ・事業者が活用可能な支援制度を市ホームページ等で発信するとともに、立命館大学と商工会議所(くさつビズサポ)に配置するコーディネータや滋賀銀行等の関係機関と連携し、事業者によるゼロカーボン等の取組を促進します。 【継続】<予算額:211千円> ・愛する地球のために約束する協定者、草津市地球冷やしたい推進協議会員に対する情報発信を行います。
	②事業者の取組事例の共有と交流機会の創出	事業者が行う地球温暖化対策などの環境に関する取組事例等を発信するとともに、事業者間の交流機会の創出により、新たなネットワークの構築に取り組みます。	◎			◎			【新規】<執行額:47千円> ・事業者の環境意識の向上と地域の環境課題の解決を図ることを目的として、市内で先進的な取り組みを進めておられる事業所の事例紹介を中心としたセミナーを開催しました。 ▶主催:草津市、草津商工会議所環境保全対策委員会 日時:令和5年11月29日(水) 場所:キラリエ草津 参加者数:22名 ※今後の施策検討の参考とするため、セミナー参加者(26者)を対象としたアンケート調査を実施した結果、次回セミナーへの参加希望として、「参加したい」「内容によっては参加したい」という回答率が100%を達成したため、実施内容精査の上、継続予定。	【継続】<予算額:40千円> ・事業者の環境意識の向上と地域の環境課題の解決を図ることを目的として、先進的な取り組みを進めておられる事業所の事例紹介や企業活動における環境問題への取組についての話題提供に関するセミナー等を開催します。 ▶主催:草津市、草津商工会議所環境保全対策委員会 日時:令和6年10月1日(火)(予定) 場所:キラリエ草津
	【再掲】 ③産学官金連携による新たな価値の創出	産学官金連携に関する情報発信を行うとともに、事業者の抱える課題やニーズと教育研究機関の有する研究シーズのマッチング支援を行います。	○	○	◎	○			【再掲】 【継続】<執行額:8,355千円(戦略1-施策3-⑦、戦略3-施策1-①と共通)> ・立命館大学と商工会議所に配置するコーディネータによる訪問活動等を通じ、市内事業者と大学等の有する知見や研究シーズや金融機関等のマッチング支援に取り組みました。 ▶延べ活動件数:673件/産学官金マッチング対応件数:16件/マッチング成立件数:3件 (令和4年度:715件/32件/4件)	【再掲】 【継続】<予算額:8,171千円(戦略1-施策3-⑦、戦略3-施策1-①と共通)> ・立命館大学と商工会議所(くさつビズサポ)に配置するコーディネータによる訪問活動等を通じ、市内事業者のニーズに応じた事業者間のビジネスマッチング支援に取り組みます。

<施策2の成果>

デジタルツールを活用したマーケティングセミナーの開催により地域の観光経営略の向上を図るとともに、着地型観光ツアーを造成することで観光入込客数の増加につなげることができた。

<施策2の課題>

SNS発信に係るターゲティングや、発信内容・方法等のマーケティングを強化し、地域の魅力を向上させる仕組みをさらに向上させる必要がある。

施策	主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和5年度の実績	令和6年度の実績
			産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
2 観光地域の魅力づくりを通じた	④地域資源を活用したまちの賑わい創出	観光事業者や観光物産協会などの関係団体と連携し、地域資源の発掘や磨き上げを行うとともに、観光の振興に寄与する事業や催し等の活動を支援します。	◎			○			【継続】<執行額:469千円> - 一般社団法人草津市観光物産協会と連携して、下記の着地型観光ツアーの造成等を通じて、観光資源の発掘や磨き上げを行いました。 「草津ハイキング」 - 開催日:令和5年7月29日(土) 参加者数:16人 - 内容:あおばな摘みとあおばな染めの体験 - 開催日:令和5年12月2日(土) 参加者数:12人 - 内容:オリジナルクリスマスブーツをつくろう - 開催日:令和6年2月3日(土) 参加者数:43人 - 内容:くさつの酒蔵めぐり 「いちご狩りと電動アシスト自転車1日レンタル付き！！桜満開の草津市をE-bikeで自由に散策」 - 開催日:令和6年3月27日(水)～3月30日(土) 参加者数:20人 「草津を自転車で楽しむあおばなツアー」 - 開催日:令和5年7月30日(日) 参加者数:9人 【継続】<執行額:4,285千円(内、市執行額:2,400千円)> - 琵琶湖の絶景や地元のグルメ等を味わう「びわこ・くさつグルメライド」といったサイクリストの誘客、地域資源の再発見、地域経済の活性化を目的としたイベントを開催し、観光振興を図りました。 - 開催日:令和5年10月15日(日)、11月5日(日)、11月19日(日) 参加者数:58人 - 内容:お好みに合わせて選べる3つのコース(距離:約25km、約50km、約80km) ※ピワイチの日:11月3日 ピワイチ週間:11月3日～9日	【継続】<予算額:1,000千円> - 引き続き、一般社団法人草津市観光物産協会と連携して、市内文化財・観光素材を含んだツアーや草津市ボランティアガイド同行による草津ならではの体験、観光素材を含めたツアーの実施や周知を図ります。 - 着地型観光を募集するにあたり、ツアーや体験システムなどを24時間受付可能なWEB予約システムを活用して予約手続きを簡略化します。 【継続】<予算額:1,200千円> - 引き続き、サイクリストの誘客、地域資源の再発見、地域経済の活性化を目的としたイベントの企画造成など、観光振興を図ります。
	⑤広域連携による観光の推進	近隣自治体やびわこビジターズビューロー等の関係団体と連携し、広域的な観光振興を推進します。	◎			◎			【継続】<執行額:373千円> - 湖南地域観光振興協議会と連携して、映画とのコラボ企画等を実施するとともに、スイーツなど特定素材のプロモーションを実施するなど、湖南4市のスケールメリットを活かした誘客等を図りました。 「びわこなん リアル謎解きラリー」 - 開催日:令和6年3月11日(月)～3月31日(日) 参加者数:568人 - 内容:湖南4市の各市に散りばめられたスポットを巡りながら謎を解いていくもの。 【継続】<執行額:145千円> - びわこビジターズビューローと連携して、観光キャンペーンの実施や観光パンフレットの発行などを行うことで、広域的な観光振興を推進しました。 - シガリスム～観光物産展～ 金山総合駅連絡橋イベント広場(愛知 名古屋)にて開催 - 開催日:令和6年1月20日 - 滋賀の観光パンフレット「シガリスムトリップ」 季刊発行	【継続】<予算額:373千円> - 湖南地域観光振興協議会と連携して、映画とのコラボ企画等を実施するとともに、スイーツなど特定素材のプロモーションを実施するなど、湖南4市のスケールメリットを活かした誘客等を図ります。 【継続】<予算額:148千円> - びわこビジターズビューローと連携して、観光キャンペーンの実施や観光パンフレットの発行などを行うことで、広域的な観光振興を推進します。 - 滋賀の観光パンフレット「シガリスムトリップ」 季刊発行予定
	⑥デジタルマーケティングを活用した観光の推進	デジタルツールを活用したデジタルマーケティングにより、データの収集・分析を行いながら効果的な観光事業を推進します。	◎			○			【継続】<執行額:2,627千円> - 一般社団法人草津市観光物産協会と連携して、地域の事業者を対象にInstagramに関するマーケティングセミナー等を開催し、Instagramマーケティングの基礎や実践方法について習得いただくことで、地域の観光経営力の向上を図りました。 - 開催日:令和5年7月13日(木) 参加者数:22人 - テーマ:Instagramマーケティングの基礎 - 開催日:令和5年7月25日(火) 参加者数:24人 - テーマ:実践！あなたのアカウント、どう伸ばすか？ - 一般社団法人草津市観光物産協会のHPをWebトレンドに則したレイアウトの変更、情報更新時などの操作性の向上、閲覧者数の増加を図るSEO対策、ユーザが行動を起こしたくなるようなコンテンツの拡充を図るため、リニューアルを行いました。 - 公表開始日:令和6年2月1日	【継続】<予算額:1,600千円> - 一般社団法人草津市観光物産協会と連携して、地域の事業者を対象にデジタルマーケティング分野で活躍できるセミナーなどを開催し、店舗情報の効果的な発信を図ることで、地域の観光経営力の向上を図ります。 - 一般社団法人草津市観光物産協会におけるSNS発信に係るターゲティングや、発信内容・方法等のマーケティングをコンサルに委託し、ユーザの消費喚起に向けた戦略的な投稿の制作を行います。 【新規】 - デジタルマップを活用し、草津市へ来訪された方への観光スポットや宿泊施設、飲食店などをわかりやすく発信する取組を行います。(詳細:資料4 7ページ参照)

<施策3の成果>

市内商工団体等が実施するイベントや中心市街地活性化事業を支援し、多くの方に来場いただき、地域の活性化につなげることができた。

<施策3の課題>

引き続き、イベント等に対して支援を行い、地域の活性化につなげるとともに、さらなる地域活性化に向けて、イベント等への支援に加えて地域活性化に繋げられる取組を検討する必要がある。

施策	主な取組事例	概要	実施主体				スケジュール		令和5年度の実績	令和6年度の実績
			産業振興団体	金融機関	教育研究機関	市	計画前期	計画後期		
3 地域特性を生かした産業の活性化	⑦商工団体の活動支援	商工会議所等の地域経済団体による活動や講演会、講座など商工業の発展に資する取組を支援します。	○	○		◎			【継続】<執行額:11,475千円> ・草津商工会議所をはじめ、市内商工団体等が実施する地域商工業の発展に資する活動・イベント等に対する支援を行いました。(以下、主な補助事業) ・草津商工会議所(講演会、産官学連携事業等) ・草津市商店街連盟(宿場まつり連携事業、クリスマスイベント等) ・みなくさまつり実行委員会(南草津駅周辺における賑わい創出・地域振興)	【継続】<予算額:12,378千円> ・草津商工会議所をはじめ、市内商工団体等が実施する地域商工業の発展に資する活動・イベント等に対する支援を行います。(以下、主な補助事業) ・草津商工会議所(講演会、産官学連携事業等) ・草津市商店街連盟(宿場まつり連携事業、クリスマスイベント等) ・みなくさまつり実行委員会(南草津駅周辺における賑わい創出・地域振興)
	⑧空き店舗を活用した店舗誘致	空き店舗の増加を防止し、魅力的な店舗を誘致することにより、まちなかの賑わいを創出します。	◎			○			【継続】<執行額:781千円> ・中心市街地(草津駅周辺)の活性化を図るため、魅力店舗誘致事業補助金として空き店舗に出店しようとする事業者に対する支援(店舗改修経費の一部補助)を通じ、地域の賑わい創出と空き店舗の利活用を促進しました。 ・補助金交付者数:1者(令和4年度:0者)	【継続】<予算額:2,000千円> ・引き続き、中心市街地(草津駅周辺)の活性化を図るため、魅力店舗誘致事業補助金として空き店舗に出店しようとする事業者に対する支援(店舗改修経費の一部補助)を通じ地域の賑わい創出と空き店舗の利活用を促進します。
	【重点取組】【再掲】 ⑨企業オフィス等の立地適地の創出	ICT企業等をはじめとした企業オフィス等の立地適地の創出に向けた調査検討を行います。				◎			【再掲】 【継続】 ・県内外の不動産会社・デベロッパー等との情報交換を行い、企業の立地適地創出に向けた検討を行いました。 ・藤沢市事例視察、不動産会社等との面談・情報交換	【再掲】 【新規】<予算額:871千円(債務負担行為:9,000千円)> ・市内における新たな産業用地創出に向けて、地域未来投資促進法等を活用した民間主導による開発の可能性調査を行います。 (詳細:資料4 6ページ参照)